

府政記者室・市政記者室・京都経済記者クラブ 同時資料配布

令和 7 年 6 月 5 日

報道関係者各位

京都スタートアップ・エコシステム推進協議会事務局

京都府商工労働観光部産業振興課

(TEL:075-414-4846)

京都市産業観光局 スタートアップ・産学連携推進室

(TEL:075-222-3339)

一般社団法人京都知恵産業創造の森

(TEL:075-353-7122)

**京阪神連携のスタートアップ・エコシステムが
内閣府の第 2 期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画の
「グローバル拠点都市（広域都市圏型）」に選定**

「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」※1 が、国の「第 2 期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画」※2 に係るスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市「広域都市圏型※3」に選定されましたので、お知らせします。

※1 京都府、京都市、（一社）京都知恵産業創造の森、経済団体、民間組織等 46 団体で構成する「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」が、大阪、ひょうご神戸の各コンソーシアムと連名で組織するもの

※2 令和 2 年度に開始された第 1 期の成果を踏まえ、スタートアップの創出と成長を一層促進するために国が推進する取組。地域の大学、研究機関、自治体、企業などが連携し、世界とつながるスタートアップ・エコシステムの形成とグローバルに活躍するスタートアップの育成を目指すもの。

※3 複数都市（※複数の都道府県域内の自治体）の量的なポテンシャルを集積・発揮し、多層的な産学官金で構成するエコシステムのこと。

<第 2 期における京阪神の取組の方向性（令和 7 年度～令和 11 年度）>

大阪・関西万博を契機として、グローバル連携を強化し、地域でポテンシャルを有する『バイオ・ライフサイエンス』、『グリーンテック』、『デジタル』のディープテック分野を軸に、世界で活躍するスタートアップを輩出し、海外からもプレイヤーが参入するグローバルなスタートアップ・エコシステムを形成する。

京都においては、大学やけいはんな学研都市などの研究機関の集積を活かしたディープテック分野における起業促進や成長支援の強化、IVS 等の機会や国際的な認知を活かした海外との連携強化・海外スタートアップの誘致促進、新技術の社会実装の促進、小中高生等を含めた次世代のイノベーター育成等に取り組む。

（別紙） 京阪神スタートアップ・エコシステムにおける取組概要（国公表資料）

<裏面に続く>

<参考：京都の第1期拠点都市KPI（令和7年3月末時点）>

KPI	目標	実績
スタートアップ設立数	166 社	222 社
大学発スタートアップ設立数	96 社	102 社
スタートアップ・ビザ認定数	15 件	34 件
ユニコーン創出数	1 社	1 社

⇒全て達成

<参考：京阪神スタートアップ・エコシステムの全体ビジョン図>

